

千里の鳥・万博の鳥  
A4版第49回  
『ノビタキ』

ノビタキは  
体長13cmとス  
ズメよりやや  
小さい小鳥。  
夏鳥として日  
本に渡って来  
て、中部地方  
の高原から北  
海道にかけて  
の草原で繁殖  
する。春、日  
本に渡ってき  
た時や、秋に  
日本での子育てを終  
え南下する時に、近  
畿地方の平野部を通  
過しているが、春は  
姿を見ることが少な  
い。春は中継地にほ  
とんど休まず一気に  
繁殖地へ飛ぶが、秋  
は渡りの中継地に休  
みながら南下するた  
めといわれており、  
良く観察できる。



めとのこと、  
冬鳥のアト  
リでも観察  
できる小鳥  
の「黒変の  
術」である。  
コサメビタ  
キ・エゾビ  
タキ・キビ  
タキなど、  
この時期に  
渡るヒタキ  
科の鳥は、  
樹林の中で飛び回っ  
ているが、ノビタキ  
は名前の通り「野に

いるヒタキ」、ヨシ・  
オギ・ガマなどの草  
原や、稲穂が色づき  
始めた田んぼに多く  
草原にあるやや高い  
木が見晴らし台とし  
ている。淀川河川敷  
で開催している大阪  
支部牧野探鳥会では、  
毎年ノビタキが観察  
できる場所がほぼ決  
まっているので、こ  
の季節のみ、ノビタ  
キを見るための特別  
コースを設定してい  
るほどである。  
林の中に住むヒタ  
キ科の小鳥と同様、  
ノビタキもフライキャ  
チが得意な小鳥、木  
や杭などやや高い所  
から周囲を見回して  
いて、虫を発見する  
と電光石火の早業で  
横っ飛びに虫をとら  
え、近くにある木に  
移動する。  
このように草原で餌  
取りをしていたノビ  
タキがいつの間にか  
いなくなる頃、鳥の  
世界は晩秋、冬鳥が  
次々到来する最も鳥  
が多くなり、楽しい  
季節を迎える。

## 10月の探鳥会案内

日本野鳥の会大阪  
支部主催・万博公  
園定例探鳥会

万博公園は草原が  
少ないのでノビタキ  
の観察はまれである  
が、林にはコサメビ  
タキ、キビタキなど  
の秋の渡りの鳥が休  
んでいる。モズの高  
鳴きに季節を感じな  
がら、カワセミとの  
出会いを楽しみに、

公園内を一周したい  
と思っている。▽日  
時：10月8日（土）  
9時30分～15時▽集  
合：自然文化園中央  
口▽解散：日本庭園  
内の予定▽担当：足  
立道成氏他▽持ち物  
：筆記具・名札、弁  
当、あれば双眼鏡。  
▽服装：ハイキング  
と同じ▽参加費：大  
阪支部会員100円、  
非会員200円。他

に万博公園入園料2  
50円が必要。  
吹田野鳥の会主催・  
万博平日探鳥会  
エゴの木に集まる  
ヤマガラ、アキニレ  
に集まるカワラヒワ  
など、木の実と鳥の  
関係が良く観察でき  
る季節、気の早いジョ  
ウビタキなど冬鳥の  
先頭バッターも姿を  
見せてくれる頃であ  
る。▽日時：10月26  
日（水）9時30分～  
12時▽集合・持ち物・  
服装：大阪支部探鳥  
会に同じ。ただし弁  
当は自由▽解散：自  
然文化園内の予定▽  
担当：有賀  
憲介氏他▽  
参加費：吹  
田野鳥の会  
会員無料、  
非会員20  
0円。他に  
万博公園入  
園料250  
円が必要。  
問合せ：090-6901-1425（平 軍二さん）  
メール：g-hira@nifty.com